

平成 26 年度当初予算 施策 取組概要

251 南部地域の活性化

- 25101 市町のフレキシブルな連携 (地域連携部)
- 25102 課題解決に向けた県の取組 (地域連携部)

(主担当部局：地域連携部)

県民の皆さんとめざす姿

南部地域において、働く場の確保が図られ、定住が促進されているとともに、生まれ育った地域に住み続けたいというあらゆる世代の地域住民の思いがかなう地域社会が創られています。

平成 27 年度末での到達目標

南部地域の課題解決や活性化に向け、市町が連携した取組が進むとともに、県、市町、大学等の連携した中間支援機能が構築され、県の取組が市町や地域のニーズに応じて効率的・効果的に進められています。

県民指標						
目標項目	23 年度	24 年度	25 年度		26 年度	27 年度
	現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
南部地域の市町における生産年齢人口の減少率	15.4%	15.6%	15.6%		15.6%	15.6%
	15.4%	16.4%				
目標項目の説明と平成 26 年度目標値の考え方						
目標項目の説明	南部地域の市町における生産年齢人口（15 歳から 64 歳）の平成 17 年から平成 27 年までの減少率					
26 年度目標値の考え方	平成 25 年度から南部地域活性化基金を活用した複数市町の取組等が本格化しており、平成 26 年度においても、平成 12 年と平成 22 年の国勢調査による確定値を基に比較した生産年齢人口の減少率（15.6%）以内に維持することをめざすこととしました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	23 年度	24 年度	25 年度		26 年度	27 年度
		現状値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値
25101 市町のフレキシブルな連携 (地域連携部南部地域活性化局)	南部地域において市町の連携した取組数(累計)	-	2 取組	4 取組		10 取組	10 取組
		-	2 取組				
25102 課題解決に向けた県の取組 (地域連携部南部地域活性化局)	集落を維持するモデル的な取組を行っている地域数(累計)	-	3 地域	6 地域		8 地域	10 地域
		-	2 地域				

進捗状況（現状と課題）

- ・13市町・有識者・県で構成する「南部地域活性化推進協議会」（以下「協議会」という。）において、各種取組の進捗状況の共有や南部地域活性化基金（以下「基金」という。）を活用した事業の検討・協議を行うとともに、市町等と連携した課題の解決や活性化に向けた取組を進めています。基金を活用した複数市町の主体的な取組は次のとおりです。
 - 第一次産業の担い手確保対策事業・・・柑橘関連の長期就農研修に希望者を受け入れるとともに、就業フェアや移住相談会に出展してPR。
 - 移住交流推進事業・・・熊野市、大紀町、紀北町で田舎暮らし体験ツアーを実施。
 - 幹線道路を活用した誘客促進事業・・・サニーロードに係る取組（玉城町、度会町、南伊勢町）では情報発信拠点を整備するとともに3町合同沿線マップを作成。R42号に係る取組（大台町、大紀町、紀北町）では3町合同情報誌を作成。高速道路のサービスエリアや道の駅で配布。
 - 子どもの地域学習推進事業・・・宮川小学校（大台町）、七保小学校（大紀町）の総合学習で、地域の魅力を発見し、地域への愛着を育む授業を実施中。また、昴学園高等学校（大台町）及び南伊勢高等学校（南伊勢町）では、地域の次代を担う人材育成カリキュラムを実施中。
 - 企業立地セミナー開催事業・・・伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町が連携し8月に大阪で企業立地セミナーを開催。参加者に対して地域をPRするとともに、企業とのネットワークを構築。
 - 婚活支援事業・・・婚活イベントを紀宝町、大台町、鳥羽市、玉城町、熊野市で実施。南伊勢町では12月下旬に実施予定。
- 引き続き、市町との連携を密にし、取組の着実な進捗を図るとともに、今後は平成26年度の事業化に向けて、より具体的な協議を進めながら若者の働く場の確保と定住の促進に取り組んでいく必要があります。
- ・名古屋において8月に岐阜県と共同で移住相談会を開催し、9月に大阪において認定NPO法人ふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア」に出展しました。11月に首都圏営業拠点「三重テラス」において2回の移住相談会を開催（それぞれ長野県、岐阜県と共催）し、1月には三重県単独での移住相談会を同会場において実施するとともに、東京において、「移住・交流&地域おこしフェア」に出展する予定です。他県との共同開催で得たノウハウを取り入れつつ、移住に関心を持つ人びとへの効果的な情報発信が必要です。
- ・市町・大学と連携した集落機能を維持するための取組を、これまでの尾鷲市と志摩市の2地域に加えて、新たに南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町の4つのモデル地域において実施しており、学生との協議を通じて、尾鷲市、志摩市においてそれぞれ地域の魅力を発信する取組が動き始めています。今後は、具体的な取組の実現に向けたさらなる検討や、他地域への波及を進めていく必要があります。
- ・地域資源を活用した事業者への支援については、新規雇用により事業拡大を行う3事業者を採択し、3名の雇用創出につなげています。採択した事業の円滑な進捗とさらなる拡大に向けて、関連施策の情報提供等、事業者に対して継続的な支援を行っていく必要があります。

平成 26 年度の取組方向

地域連携部

- ・施策のめざす姿である「生まれ育った地域に住み続けたいという南部地域のあらゆる世代の住民の思いがかなう地域社会」を実現するためには、各市町を中心とする「地域」が主体的に考え、取組を進めていくことが重要であり、協議会や基金を軸として、そのための仕組みを構築していきます。基金を活用したさまざまな市町の枠組みによる主体的な取組が本格的に動き出しており、この流れを止めることなく、成功事例を生み出し、協議会等において共有していきます。また、基金については、市町からの評価も高まっており、その活用にあたっては、新たな提案や地域的な広がりが見られることから、一定の財源を確保するため、基金を積み増す方向で検討します。
- ・三大都市圏における移住セミナーや相談会等の移住交流の取組については、他県との共同開催で得たノウハウを取り入れるとともに、南部地域の魅力にメッセージ性を持たせるなど、より効果的な情報発信を行います。また、空き家バンクの整備など、市町と連携した移住者の受入体制をさらに充実し、若者を含めた幅広い世代の移住・定住を促進します。
- ・市町・大学と連携した集落機能を維持するための取組については、25 年度から実施している 4 つの地域に加えて、新たなモデル地域における実施を検討します。また、地域住民の主体的な取組をサポートする人材を育成するとともに、他地域への波及に向けてノウハウ等の蓄積・共有を図ります。
- ・南部地域における就労支援については、若者の雇用も意識しながら、地域資源を活用した新しい事業展開や事業拡大を行う事業者に対し、基金を活用して新たな雇用の創出を支援します。

主な事業

地域連携部

●南部地域活性化推進事業（総合調整事業）【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 7, 354 千円 → (26) 4, 887 千円

事業概要：南部地域活性化推進協議会において、各種取組の進捗状況の共有や基金を活用した事業の検討・協議を行うとともに、三大都市圏において「移住相談会」を開催するなど、移住・定住促進に向けた情報発信等を行います。

●南部地域活性化基金積立金【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 63 千円 → (26) 48, 000 千円

事業概要：南部地域における働く場の確保や定住を促進するため、地域や市町のニーズに応じて、複数の市町が連携して取り組む事業等を行うための基金を積み立てます。

●幹線道路を活用した誘客促進事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 12, 903 千円 → (26) 15, 535 千円

事業概要：複数市町が連携して取り組む幹線道路（サニーロード、R42 号）を活用した誘客促進の取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●子どもの地域学習推進事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 2, 184 千円 → (26) 2, 233 千円

事業概要：地域を担う人材を育成するため、複数の市町が連携して取り組む、地域への愛着心を育む子どもの教育に対し、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●企業立地セミナー開催事業【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 2, 275千円 → (26) 2, 235千円

事業概要：南部地域における企業誘致を促進するため、複数市町が連携して取り組む、都市部での企業立地セミナーについて、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●（一部新）熊野古道世界遺産登録10周年キャンペーン事業

【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) 6, 000千円 → (26) 8, 000千円

事業概要：熊野古道世界遺産登録10周年に向け、東紀州地域の5市町が連携し、平成26年7月から半年間展開する10周年キャンペーンの取組に対し、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●（新）伊勢から熊野へ～熊野古道伊勢路魅力発信事業

【基本事業名：25101 市町のフレキシブルな連携】

予算額：(25) ー 千円 → (26) 6, 093千円

事業概要：複数市町が連携して、伊勢からはじまる「熊野古道伊勢路」の魅力を発信する取組に対し、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●集落支援モデルの構築事業【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】

予算額：(25) 5, 438千円 → (26) 6, 466千円

事業概要：集落機能を維持するため、市町・大学と連携して、モデル地域において集落が抱える課題に対する地域住民の主体的な取組について、南部地域活性化基金を活用して支援します。

●地域資源を活用した雇用創出事業【基本事業名：25102 課題解決に向けた県の取組】

予算額：(25) 5, 250千円 → (26) 9, 500千円

事業概要：地域資源を活用して新しい事業展開や事業拡大を行う事業者に対し、南部地域活性化基金を活用して、新たな雇用の創出を支援します。